

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスセンターちぐさのいえ		
○保護者評価実施期間	R8年1 月29 日		～ R8年2 月20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R8年1 月29 日		～ R8年2 月13 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2 月20 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 外出の機会を多く設定している。普段、家族との外出や学校行事では行かない場所も体験出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童の特性を考えながら、行き先、滞在時間、職員配置の検討や車の数の調整をしている。 地域の施設や人を活用している。 利用者が楽しく活動出来るように興味をもちそうな行事を取り入れるようにしている。 外での集団活動時のルールやマナーが身に付くよう指導を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行き先が固定化しないように検討する。体験学習のような機会も継続していく。 利用者の希望を聞き、より積極的に参加出来る活動を工夫していく。 個人差に配慮しつつ、地域や世代間の交流を深めていきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動が中心となり様々な年齢や学校の児童と交流する事ができ、コミュニケーション方法を学ぶ事が出来る。 保護者参加の出前講座を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団に入る事が難しい児童には個室を設ける等、配慮している。 防災や健康など親子で楽しく学べる内容となるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動に入れない児童への活動の内容を再検討する。 参加者が固定化しているためお知らせを増やすなどして参加を促す。
3	<ul style="list-style-type: none"> 毎日のスケジュール(活動の流れ)が決まっているため、活動の見通し出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールと時計の確認を促し、時計がよめる児童は自ら時計を見て行動出来るように声掛けをしている。時計がよめない児童も絵カードを用いて流れの見通しはもてている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流の場がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子教室という形で開催しているが参加自体が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方の希望をお聞きしながら検討していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースは2階になりバリアフリーではない。 ワンフロアで支援が出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物が建った頃は放課後等デイサービスの開所まで想定されてなかった。2階に主な活動空間があり、階段がネックになる利用者がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 階段の上り下りなど見守りが必要な児童には必ず職員がつき、安全を確保している。階段の手摺を増設し、より安全に過ごしてもらえようとしていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースが狭い。 細かな点で施設面での子どもたちへの配慮に欠けている点がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かす活動をする際は狭いと感じる。 子どもたちの予測不可能な動き(行動)に対応しきれない点がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の拡張や新しい活動スペースの確保の検討。 気付いた点より施設の改修に取り組む。(階段の両側手摺設置など)